

今年の夏は、
福島でしかできないことを
やってみよう！

4泊5日の
夏合宿！

除染土処分

に関する

学生ワークショップ

in 福島

負担は
昼食代
のみ！

全国の学生
と
交流できる

環境省
と
話し合える

除染土処分に関する

学生ワークショップ

福島県浜通り(4泊5日)

2024. 9/18 (水) ▶ 9/22 (日)



除染土処分の問題とは?

福島第一原子力発電所の事故によって、福島県内で発生した除染土は**2045年までに県外で最終処分**されることが法律で決まっています。このように、除染土の最終処分は全国的な問題ですが、その**認知度は低い**状態です。そのため、このワークショップでは、**全国の学生が集まって除染土のことを現地で学び、環境省との対話などをもとに、除染土処分に関する認知度を高めるための提言を行うこと**を目的としています！

〈日程〉 宿泊：ビジネスホテルARM双葉(双葉町) 4泊5日

9月18日(水)

お昼すぎ 福島駅または大野駅集合
伝承館見学、アイスブレイク (双葉町)

9月19日(木)

午前：中間貯蔵施設見学 (大熊町・双葉町)
午後：飯館村長泥地区見学 (飯館村)

9月20日(金)

午前：自治体・環境省職員との対話 in linkる大熊 (大熊町)
午後：除染土の社会受容性についての講義、
ディスカッション in linkる大熊 (大熊町)

9月21日(土)

チームで議論、発表物・提言作成 in 学びの森 (富岡町)

9月22日(日)

市民を交えた発表会・交流会 in linkる大熊 (大熊町)
午後 大野駅または福島駅で解散



募集人数：**全国の大学生・大学院生、定員25名** (応募人数が定員を越えた場合、実行委員会で選考させていただきます)

参加費用：各自の昼食代のみ (学生WS中の宿泊費や福島までの交通費などは実行委員会が負担します)

*9月12日(木)に事前学習会、12月に提言についての報告会を行います (オンライン含む)

主催：除染土処分に関する学生ワークショップ実行委員会

共催：環境省 環境再生・資源循環局

協力：福島大学地域未来デザインセンター、福島大学「地域×データ」実践教育推進室
北海道大学サステナビリティ推進機構、九州大学 資源循環・廃棄物工学研究室
福岡大学水理衛生工学実験室

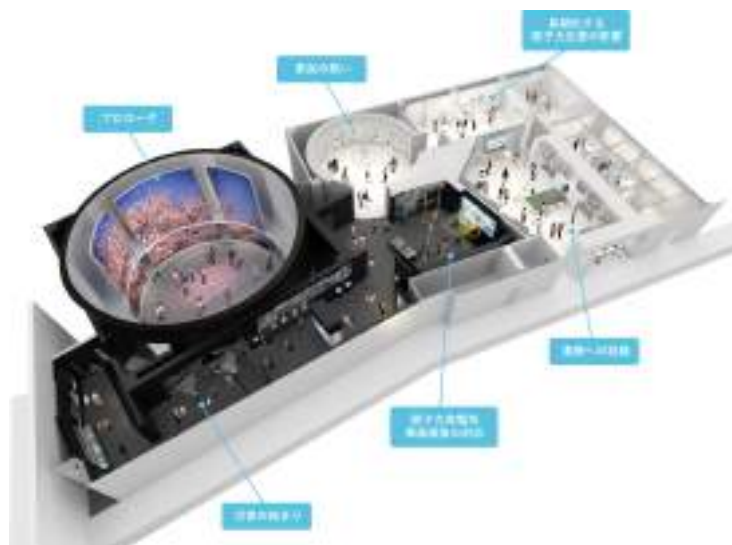
問い合わせ先：沼田大輔(福島大学) numata@econ.fukushima-u.ac.jp, 024-548-8423

受付フォームURL：<https://forms.gle/5BAAitZM8qwRWH35a6> (締切：2024年7月31日)

受付フォーム



〈各施設の紹介〉



〈東日本大震災・原子力災害伝承館〉

展示見学や研修プログラム、調査・研究を通じて、震災・原発事故の教訓を国内外に発信している施設

・地震や津波、原発事故といった災害の実態や復興への歩みに関する展示



〈中間貯蔵施設〉

福島県内の除染で出た除染土などを貯蔵する施設

- ・バス移動中心（環境省の説明あり）
- ・土壌貯蔵施設での空間線量率測定体験
- ・減容化施設での廃棄物処理業務説明



〈長泥地区〉

除去土壌を再生利用する実証実験を行っている地区

- ・稲や野菜、花などの栽培試験の説明
- ・環境省との意見交換会

